

公益社団法人岐阜病院 広報誌

まごころ

『まごころ』は、公益社団法人岐阜病院の広報誌です。



28号

病院理念

私たちは、真心をこめて医療福祉サービスを提供します。

第

自閉症スペクトラム障害とは



自閉症スペクトラム障害は、対人関係が苦手、強いこだわりといった特徴をもつ発達障害の1つです。

従来、世界保健機関(WHO)の定めた国際疾病分類(ICD)やアメリカ精神医学会の精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM)では、アスペルガー症候群などとともに広汎性発達障害というカテゴリーのもと自閉症という診断が位置づけられていました。2013年に刊行された「DSM-5」では、自閉症という障害名は廃止され、自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害の障害名のもとに統合されました。

症状や程度は年齢や知的障害(精神遅滞)の有無等によって非常に多様です。幼児期では「視線が合わない」「他の子に興味、関心がない」「言葉が遅い」などで気づかれることが多く、「一人遊びが多い、ごっこ遊びを好まない」「人見知りをしなない」「名前を呼んでも振り向かない」「表情が乏しい」「だっこや触られるのを嫌がる」などの特徴も見られます。独特な遊びや儀式をしたり、自分の好きなことや興味のあることには、毎日何時間でも熱中したり、初めてのことや決まっていたことの変更は苦手で、なじむのにかなり時間がかかることもあります。症状は成長するにつれ変化し多様化します。思春期や青年期になると、自分と他人との違いに気づいたり、対人関係がうまくいかないことに悩み、不安症状やうつ症状を合併する場合があります。就職してから初めて、仕事が臨機応変にこなせないことや職場での対人関係等に悩み、自ら障害ではないかと疑い病院を訪れる人もいます。子どもの頃に診断を受け、周囲からの理解を受けて成長した人たちの中には、成長とともに症状が目立たなくなる人や、能力の凸凹をうまく活用して社会で活躍する人もいます。

自閉症スペクトラム障害には有効な根本的薬物治療はまだ確立されておらず、治療の基本は、一人ひとりの特性に合わせた教育的方法を用いた支援(療育)、環境調整です。個別もしくは小集団での療育を受けることにより、コミュニケーションの発達を促し、適応力を伸ばすことが期待できます。また療育を経験することにより、新しい場面に対する不安が軽減され、集団活動に参加する意欲が高まります。また言葉によるコミュニケーションに頼りすぎず、視覚的な手がかりを増やすなどの環境面の工夫をすることで、子どもの不安が減り、気持ちが安定し、パニックが少なくなることが期待できます。ただし、興奮、攻撃性、自傷行為、不眠などの症状を認めた場合に、各症状に対して薬物療法を行うことがあります。思春期以降になり不安症状、うつ症状等が表れた場合などにも、薬物療法を行うことで症状が改善することがありますが、その場合にも、症状が現れる前に過度なストレスの有無、生活上の変化の有無等を確認し、まず環境調整を試みるのが大切です。

自閉症スペクトラム障害の方々は、特性を周囲に理解してもらえず、いじめに遭う、一生懸命努力しても失敗を繰り返してしまうなどのストレスを多く抱えやすく、うつ等の精神症状や頭痛等の身体症状、不登校や引きこもり、暴力などの二次障害を引き起こしやすいと言われています。そうならないためにも家族など身近にいる方々が本人の特性に気づき、理解することが非常に重要であり、それにより本人が安心し、自尊心の低下を防ぎ、二次障害の問題を最小限にとどめるだけでなく、本人の社会生活等への意欲を高めることにもつながります。本人の特性、能力、状態等を正しく理解し、個々のニーズに合った適切な支援につなげていくことが大切です。



デイケアセンターあさがお

みなさんはデイケアをご存知でしょうか。精神疾患では今まで通りの生活や仕事に戻るのはまだ自信が無いとか、今一步以前の状態に戻れないという時期があります。また重篤な症状はなく、軽い症状が長く続くこともあります。そのような時期に、医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士など専門職種が技術をもってご利用者様をバックアップし、回復に向けてチームで取り組んでいくのが精神科リハビリテーション施設“精神科デイ・ケア”です。精神科デイ・ケアにはご利用者様の回復に向けて様々なプログラムが用意されています。



当院デイケアは平成8年11月に開設されました。平成12年7月に定員が拡大され、さらに平成18年10月には2施設となり、“つどい”と“あゆみ”という愛称で運営されました。

令和になり、今夏7月に当デイケアは**デイケアセンターあさがお**としてリニューアルスタートしました。“あさがお”の花言葉には愛情や喜びという意味があり、この愛称にはご利用者様方のデイケアに期待する思いがこもっています。デイケアの活動は課題や目的を持ったプログラムを中心に行われます。健康講座は疾患や症状の理解をすすめ、困ったときの対処法を学習します。楽器演奏で発散したり一緒に楽しんだりできる音楽プログラムがあり、茶道や華道は心を落ち着けて趣味の充実を図ります。就労支援の講座もあれば、ヨガやストレッチなどの運動系プログラムもあります。また各季節にはイベントもあり、花見やバーベキューに出かけて季節を満喫します。

デイケア施設はこれら多くのプログラムに対応できるよう設備も整えられていますし、くつろぎエリアではコーヒーなど飲みながら仲間とのひと時を楽しめるような工夫もあります。

多くのご利用者様は、これらのプログラムを通して他のご利用者様と一緒に活動し、交流や体験を共にしながら少しずつ回復過程を歩んでいきます。その交流や体験を力として再度社会へ戻っていった方も多くいます。そのような方々が増えていくと私たちスタッフはとってもうれしく思うのです。

デイケアセンターあさがお 看護師 森 康成

※ご利用希望や見学は主治医までご相談下さい。



南館解体工事のお知らせ

現在、当院では南館の解体工事を実施しています。

工事期間は2019年11月中旬終了予定となります。

工事期間中は、騒音・振動・工事車両の通行など、患者様をはじめ来院される皆様、近隣の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、本工事へのご理解とご協力のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



名鉄岐阜駅からお越しの場合

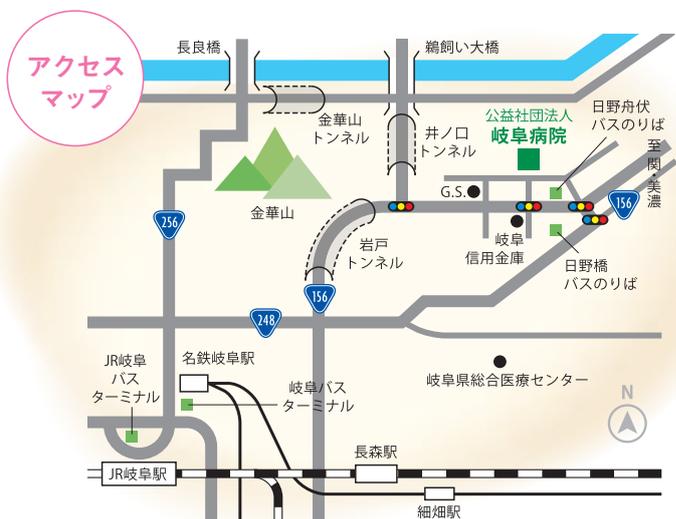
❖ 岐阜バスターミナル Dのりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 19分「日野橋」下車 徒歩10分
 日野市橋線(日野西行) 21分「日野舟伏」下車 徒歩5分

JR岐阜駅からお越しの場合

❖ JR岐阜駅 14番のりば乗車

大洞団地線・岐阜関線 17分「日野橋」下車 徒歩10分
 日野市橋線(日野西行) 19分「日野舟伏」下車 徒歩5分



❖ 外来担当表

	月	火	水	木	金
一診	淡路	石井	安楽	淡路	安楽
二診	初診	初診	初診	初診	初診
三診	宮崎	勝	吉田	深尾(希)	勝
四診	伊藤	吉田	南谷	南谷	柳澤
五診	平野	平野	柳澤	前田	伊藤
六診	前田	鈴木院長	山舗	永田	山田
七診					鈴木(絵)
八診					
午後診療 (再診のみ) 13:00~15:00	宮崎 利重 本間	須磨			柳澤 本間

公益社団法人 岐阜病院 広報誌まごころ

令和元年 9月25日発行
 〒500-8211
 岐阜県岐阜市日野東3丁目13番6号
 ☎058-245-8171
 FAX 058-246-6824
<http://www.shadan-gifu.or.jp>

初診ご予約

☎058-259-3366

予約受付時間：平日 9時～17時

※受診当日の初診ご予約は出来ません。救急時はご相談ください。

編集後記

今年の夏も猛暑で、暑い日が続きましたが、最近になってようやく暑さが和らぎ朝晩は涼しくなりました。皆さま方におかれましては、体調など崩されないようお過ごしください。

広報委員